

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名

出動スピードアップ作戦

自治体名

諫早市

消防団名

諫早市消防団

1 事業の目的・必要性

地域内で柔軟な体制を整備し、緊急時に消防車両を効率よく出動させ、スピーディーな出動体制を確立する

2 事業内容

- ・ 団員同士で出勤状況がわかる体制の再構築
- ・ 近隣分団との合同自主訓練による機械器具操作の習得
- ・ 近隣分団と相互に広報活動の実施、消防水利の確認
- ・ 火災想定（参集）訓練の実施
- ・ 消防車の共有化を図るための車両表示の改修



【LINEを活用した連絡体制の整備】



【火災想定（参集）訓練の実施】

3 事業成果

本市消防団は、火災現場への出動の際は、安全対策のため3人の団員が研修所に参集するまで出動できない取り決めとしているため、出動できる人員を確保することが大きな課題であるが、いつ何時発生するかわからない火災に対して、時間帯により対応できる団員、できない団員の確認を行い、時間帯に応じて対応可能な人員の確認を行い火災想定（参集）訓練を実施した結果、分団内で連絡体制の確認や消防車両の出動体制を調整したとおりにスムーズに出動することができることを確認した。

今回の訓練は、本市消防団の一部の地域で実施したものであるが、スムーズに現場に出動体制できることが確認できたため、この取り組みの結果を訓練や研修により全分団に広める、継続して取り組むこととしたい。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
体制の再構築	割合	90%	70%	
火災想定訓練参加者	人数	500人	100人	
講習会	回数	20回	20回	

5 その他参考情報

R5年4月1日、消防団組織を78個分団体制から20個分団78部体制に組織再編を実施した